

沖縄カトリック中学高等学校
学校通信

野ばら 9月号

発行
沖縄カトリック中学高等学校
〒901-2215
宜野湾市真栄原3-16-1
TEL 098-897-3300
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp/>
2018年9月3日(月)

あの人のようになろう

校長 夏見隆晴

あの人のようになろう、という思いが、今日もわたしを動かして、職場への道を歩ませてくれているように感じます。幾つの年齢になっても、「先輩」と呼ばしていただき、その模範に少しでも近づければよいのだが、と仰ぎ見ることのできる人がいるものです。ここで私は、「先輩」という言葉を使いましたが、勿論それは年齢だけのことではありません。年齢を重ねてみて感じることは、私の場合、世の中にはまだまだ自分が良く理解していない事で満ち溢れている、学ぶべき事はまだまだある、と思われ知らされるだけです。

あの人のようになりたい、そしてあの人のようになろうと志を立て、わたしも長い学校生活を送ってまいりました。幸い、親兄弟の理解もあり、他人より長く学ぶ機会も持てたこと、今は自分がどれだけ恵まれた修業期間を過ごさせてもらったかを考えると、その分だけ余計に、社会に還元させてもらおう努力をしなければ申し訳ないと考えております。

私の場合、自分の過去を振り返ってみて思うことは、私という人間が積極的な人間であったとは言えないのです。どちらかと言うと、消極的で他人の後を追いかけることの方が多い人間であったと言わざるを得ないのです。横道にそれた歩み方でもありました。ただ、そんな私に、神様は、実に多くの助け手を、いつも贈ってくださいました。私には数えきれない、多くのご指導を頂いた人々のお名前を列挙できるという幸せがございました。

人間は一人では生きられない、と言われておりますが、神様は本当に多くの人たちを、私の周りにもお送りくださいました。それにもかかわらず、わたしの非力と努力不足から、いかに多くの人々に嫌な思いをさせ、遠ざけてしまうというイエス・キリストの思いとはかけ離れた結果を招いてしまったのではないかと、今では残念な思いで一杯です。

大学生の頃にお世話になった先生のお一人が、人は誰もが先輩・同輩そして後輩に囲まれて生きているのに、その誰に対しても「欠けた処のある付き合いをしてきたこと」へのおもいを詩にして贈って下さったことを今にして思い出します。勿論、先生のわたし達若者に対する厳しい態度とお言葉も強烈でしたが、今はあの厳しいご薫陶があったから、今日のわたしがあるのだということも理解して、懐かしく当時を思い出しております。

今は、まだ若くそして広い世界の中で、将来をどのように生きて行こうかと模索している子供さん達が、学ぶことの意義を考えざるを得ない現実と直面することにもなります。そんな悩みを持ちながら生きているところに出くわす時には、どうか話を聞いてやってください。親にも若い時があり、同じように悩み、考えて生きたことが、今日に繋がっているのだと、教えてあげて欲しいのです。わたし自身、とっくに保護者の皆さんの年齢を越して、あの時、子供にこれを教えておけばよかったと思わないで済むように願うからです。

私を証明する

英語科 山内朝美

高校1年生の冬、国語の先生が黒板に一行こう書いた。

「どうやってあなたはあなた自身を証明しますか。」

高校生の私たちには突然の問いに戸惑いを隠しきれなかった。この日の授業、先生が話すことは一切なく、クラスメイトのこの問いに対する発言を先生が黒板に書くだけ。黒板には、名前を名乗る、両親に生い立ちを語ってもらう、役場から戸籍を取ってくる、学生証など身分を証明するものを提示するというようなものばかり。私はその黒板の記録を見て、違うな、この問いはそういう事を聞いているんじゃない。一生かけても答えを導きだせないかもしれない、でも考える価値はあると思った。

この日がきっかけとなり、私は自分自身がどういう人間なのか、この地球上の中でどういう存在であるのかという事を自問自答し続けている。学生の頃は仲の良い友達や部活仲間「私」について聞いたりした。倫理の授業で出てきた思想家や哲学者から答えを得ようと本を読んで、この問いに対する正解を見つけようと試みたこともある。

しかし、現在に至るまで「これが答えだ!」と言えるのではない。この問いに出会い15年以上も経って気づいたことは、書物や他者の中には答えはないということである。本の中には答えを導き出すヒントはあったとしても、それがこの問いに対する答えではない。他者があなたはこの人よと言ったとしてもそれは私を証明する事はできない。そもそもどこかに答えがある!と決めつけている事自体が間違いなのだ。私は生きているのだから、日々共に時間を過ごしている人との関わりのなか(現実世界の中)で、自分を見つめ、答えを見つけることができるのだろう。これから先もこの問いと向き合いながら生きていく。

みなさんも人生をかけて答えを見つけていく問いと出会ってほしいと願っています。

読んでくれてありがとうございます。

教員の異動のお知らせ

Sr.カリダ佐伯孝子が9月1日付けで伊丹修道院に転任しました。後任として、養護教諭の登川朝子先生が着任します。

また、数学科の鈴木恵美先生が産休に入りました。後任として、謝敷実也先生(数学科・中3副担)が着任します。

生徒の頑張り！

★第10回全日本少年春季軟式野球大会 中頭地区予選

宜野湾中と沖縄カトリック中の合同チーム 対 越来中 14-2(コールド勝ち)

★県高校新人野球大会 中部南地区第一代表校決定戦

Bブロック 1位



★平成30年度九州中学校体育大会 第51回九州中学校体操競技大会

中2 中田 健斗 体操競技 個人総合

★2018 APU(立命館 Asia Pacific University)サマースクール ～世界と混ざる6日間～

高1 伊敷 琉羽 参加

★2018 彩る感動 東海総体 平成30年度全国高等学校総合体育大会

高2 藤原 孝史朗 出場 砲丸投げ 記録 14m 21

円盤投げ 記録 40m 34

高2 中田 海斗 出場 体操個人総合



9月の行事

9月3日(月)	生徒集会 授業開始
5日(水)	職員会議 (16:20 完全下校)
8日(土)	English Festival 学校見学会③ 中2 修学旅行説明会 基小論
11日(火)	中学総合学力調査 高1・2 スタディサポート② 高3 ベネッセ駿台 M①
17日(月)	敬老の日
22日(土)	地区陸上 (選手のみ参加)、家庭学習日
23日(日)	秋分の日
24日(月)	振替休日 (秋分の日)の分
26日(水)	委員会活動③
27日(木)	総合・体験学習 進研プレパック (高2, 3) オーストラリアホームステイ受け入れ (~10/2)
28日(金)	前期終業式 平和学習講演会 (マリアホール)

